



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 セントケア・ホールディング株式会社

コード番号 2374 URL <https://www.saint-care.com/>

代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）藤間 和敏

問合せ先責任者 （役職名）常務取締役管理本部長 （氏名）瀧井 創 TEL 03-3538-2943

半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向けライブ配信及び当社サイトに動画掲載）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	28,922	3.3	1,288	0.1	1,367	2.6	1,062	31.4
2025年3月期中間期	27,993	3.8	1,287	△20.1	1,333	△18.2	808	△24.8

（注）包括利益 2026年3月期中間期 1,076百万円（31.2%） 2025年3月期中間期 820百万円（△24.3%）

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	43.10	42.67
2025年3月期中間期	32.77	32.45

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	30,587	17,215	56.0
2025年3月期	30,483	16,865	55.1

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 17,136百万円 2025年3月期 16,785百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2026年3月期	—	0.00			
2026年3月期（予想）			—	00.00	00.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

本日付で公表した「MBOの実施及び応募の推奨に関するお知らせ」及び「2026年3月期配当予想の修正（無配）及び株主優待制度の廃止に関するお知らせ」の通り、当社の普通株式及び新株予約権に対する公開買付けが成立することを条件に、2026年3月期の配当予想を修正し、2026年3月期の期末配当を行わないことを決議いたしました。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	58,588	4.1	2,061	△15.1	2,026	△17.8	1,336	△10.2	54.20

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

当社は、2025年8月1日付で譲渡制限付株式報酬としての自己株式18,176株の処分を行っております。2026年3月期の連結業績予想における「1株当たりの当期純利益」については、当該株式処分の影響を考慮しております。

※ 注記事項

（1）当中間期における連結範囲の重要な変更： 有

新規 2社 （社名）愛らいふサービス株式会社及び有限会社青空
除外 2社 （社名）セントワークス株式会社及びセントケア岡山株式会社

（2）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（4）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2026年3月期中間期	25,003,233株	2025年3月期	25,003,233株
2026年3月期中間期	345,655株	2025年3月期	363,831株
2026年3月期中間期	24,645,461株	2025年3月期中間期	24,668,783株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想に関する事項については、添付資料P. 3「1.経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況.....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況.....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における当社グループを取り巻く経営環境は、超高齢社会を背景に今後もサービスに対する需要の増加が予想されている一方で、生産年齢人口の減少とともに人材の確保がより一層厳しさを増しており、従業員の採用・定着に加えて生産性の向上が重要な経営課題となっております。また、売上高の大部分を介護・医療・障害福祉といった保険制度の報酬体系に依拠するため、価格転嫁の出来ない事業特性に対して高まるインフレ圧力や人材の獲得競争の激化などにより収益構造が大きく変化しており、これまで以上に外部環境の変化に対する柔軟な対応が求められる状況と認識しております。

当中間連結会計期間の業績につきましては、売上高では289億22百万円（前年同期比3.3%増）となりました。2025年4月1日付でセントワークス株式会社の全株式の譲渡・連結対象外となったことによる影響（前年同期比で2億75百万円の減少）はあったものの、主に新規出店と前期での開設拠点（M&Aによる取得拠点含む）が成長を牽引しており、これに加えて2025年5月1日付で大阪府北部に営業拠点を有する愛らいふサービス株式会社、2025年7月1日付で神奈川県横浜市に営業拠点を有する有限会社青空の株式を取得（子会社化）したことも増収の要因となっております。

費用面では、増加基調となっていた外注派遣費は採用活動や配置の見直し等により減少に転じております。人件費については、人材採用と待遇改善を継続して実施していることで増加しておりますが、増員ペースとしては新規採用数に対して離職者数も同等程度発生しておりM&Aによる増員に留まっております。当初の見込みに対しては結果として人件費や採用関連費用が抑制された格好となっており、喫緊の課題として採用と定着に向けた取り組みの更なる強化が必要となっております。この他、当期よりICT基盤の全面刷新に本格着手し、デジタルシフト推進に注力することを決定し対応を進めております。基幹業務システムである介護保険請求システムの全面刷新や訪問看護及び訪問介護現場スタッフへのスマートフォンの配付などを第一段階として導入を開始しており、この中間期までにこれらの開発コストや導入費用等が増加しております。当初計画に対しては全体的にスケジュールが遅れ気味で進行しており、一部費用の発生時期が後ろ倒しとなっていること等から経費が抑制されておりますが、下期において段階的に費用が増加していく見通しです。

この結果、営業利益は12億88百万円（同0.1%増）、経常利益は13億67百万円（同2.6%増）となりました。その他、特別利益として関係会社株式売却益2億60百万円を計上しており、親会社株主に帰属する中間純利益は10億62百万円（同31.4%増）となりました。

当中間連結会計期間におけるセグメントの経営成績を示すと、次のとおりであります（セグメント間取引を含む）。

・介護サービス事業

訪問系サービスでは、訪問介護において既存拠点を中心に新規お客様の獲得に伴う稼働の向上などにより堅調に推移し、増収増益となりました。また、訪問看護においても既存拠点の改善が進んでいることに加えて、前期に開設した12ヶ所によりお客様数が増加し増収増益となり、訪問系サービス全体でも増収増益となりました。

施設系サービスでは、看護小規模多機能型居宅介護とデイサービスで前期に開設した拠点の収益改善が進みましたが、既存拠点では利益改善に課題を残しており、看護小規模多機能型居宅介護を中心に、グループホームや有料老人ホーム等で減益となっております。また、前期から今期にかけてM&Aで取得した拠点の貢献により収益基盤が拡大し、施設系サービス全体では増収増益となりました。

これらの結果、売上高は286億82百万円（前年同期比4.4%増）、営業利益は10億57百万円（同23.2%増）となりました。

なお、当社が推し進めております「コミュニティNo.1戦略」については、当中間連結会計期間末日において55ヶ所で活動しており、今期においても積極的にエリアを拡大してまいります。

・その他

その他においては、セントワークス株式会社の全株式を譲渡し連結の範囲から除外したことにより、売上高と利益が減少しました。その結果、売上高は2億74百万円（前年同期比59.2%減）、営業利益は12百万円（同80.3%減）となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末（以下「前期末」という）より1億3百万円（前期末比0.3%）増加し、305億87百万円となりました。

流動資産は、前期末より3億17百万円（同1.9%）増加し、173億88百万円となりました。これは主に現金及び

預金が4億7百万円減少した一方で、売掛金が6億45百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前期末より2億13百万円(同1.6%)減少し、131億99百万円となりました。これは主に投資その他の資産が1億47百万円、有形固定資産が73百万円減少したことによるものであります。

流動負債は、前期末より42百万円(同0.6%)減少し、74億円となりました。これは主に未払金が1億60百万円増加した一方で、未払法人税等が1億44百万円、賞与引当金が83百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前期末より2億4百万円(同3.3%)減少し、59億71百万円となりました。これは主に長期借入金が1億55百万円、リース債務が90百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前期末より3億50百万円(同2.1%)増加し、172億15百万円となりました。これは主に利益剰余金が3億22百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間における業績を踏まえたうえで、通期の業績予想については、据え置きとさせていただきます。

詳細につきましては、本日(2025年11月7日)付の「2026年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想と実績値の差異に関するお知らせ」をご参照ください。今後、何らかの事情により業績予想から変更が生じた場合には適切に開示してまいります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,186,572	6,779,569
売掛金	8,766,303	9,411,426
棚卸資産	71,783	86,115
その他	1,060,878	1,127,723
貸倒引当金	△14,444	△16,462
流動資産合計	17,071,094	17,388,371
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,119,743	5,050,919
リース資産(純額)	2,210,940	2,071,592
その他(純額)	1,172,996	1,307,453
有形固定資産合計	8,503,680	8,429,965
無形固定資産		
のれん	377,419	599,217
その他	376,425	161,919
無形固定資産合計	753,845	761,137
投資その他の資産		
差入保証金	2,043,451	2,018,936
その他	2,111,825	1,989,257
投資その他の資産合計	4,155,276	4,008,194
固定資産合計	13,412,802	13,199,296
資産合計	30,483,896	30,587,667
負債の部		
流動負債		
買掛金	540,607	534,845
1年内返済予定の長期借入金	577,736	587,696
リース債務	178,366	180,663
未払金	3,453,692	3,613,704
未払法人税等	613,705	468,858
賞与引当金	1,400,964	1,317,735
その他	677,231	696,523
流動負債合計	7,442,303	7,400,026
固定負債		
長期借入金	1,045,902	890,873
リース債務	2,606,601	2,515,723
退職給付に係る負債	2,283,722	2,294,697
資産除去債務	171,882	189,443
その他	68,268	81,133
固定負債合計	6,176,376	5,971,871
負債合計	13,618,680	13,371,898

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,773,080	1,773,080
資本剰余金	1,729,913	1,728,980
利益剰余金	13,670,362	13,992,888
自己株式	△299,615	△284,638
株主資本合計	16,873,741	17,210,311
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	△87,764	△73,781
その他の包括利益累計額合計	△87,764	△73,781
新株予約権	79,239	79,239
純資産合計	16,865,215	17,215,768
負債純資産合計	30,483,896	30,587,667

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	27,993,222	28,922,588
売上原価	24,617,733	25,290,679
売上総利益	3,375,489	3,631,909
販売費及び一般管理費	2,087,585	2,343,313
営業利益	1,287,903	1,288,595
営業外収益		
受取利息	1,973	2,741
受取配当金	2,787	2,111
受取保険金	5,903	12,546
受取家賃	24,292	27,092
補助金収入	56,604	57,178
助成金収入	4,998	6,638
持分法による投資利益	—	3,282
その他	21,846	34,216
営業外収益合計	118,406	145,807
営業外費用		
支払利息	60,572	57,775
持分法による投資損失	5,709	—
その他	6,415	8,801
営業外費用合計	72,697	66,576
経常利益	1,333,613	1,367,826
特別利益		
固定資産売却益	170	2,261
補助金収入	53,612	4,290
関係会社株式売却益	—	260,180
その他	424	—
特別利益合計	54,207	266,732
特別損失		
固定資産除却損	932	803
固定資産圧縮損	53,588	3,842
減損損失	—	14,145
特別損失合計	54,521	18,791
税金等調整前中間純利益	1,333,299	1,615,766
法人税等	524,806	553,610
中間純利益	808,493	1,062,156
親会社株主に帰属する中間純利益	808,493	1,062,156

(中間連結包括利益計算書)

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	808,493	1,062,156
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	11,654	13,983
その他の包括利益合計	11,654	13,983
中間包括利益	820,147	1,076,139
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	820,147	1,076,139

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	介護サービス事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	27,479,647	27,479,647	513,574	27,993,222
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	157,846	157,846
計	27,479,647	27,479,647	671,421	28,151,068
セグメント利益	858,864	858,864	64,991	923,856

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アウトソーシング受託サービス、介護保険請求ASPシステムの販売等の各事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	858,864
「その他」の区分の利益	64,991
セグメント間取引消去	1,640,412
のれんの償却額	142
全社費用(注)	△1,276,507
中間連結損益計算書の営業利益	1,287,903

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	介護サービス事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	28,682,728	28,682,728	239,860	28,922,588
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	34,319	34,319
計	28,682,728	28,682,728	274,179	28,956,908
セグメント利益	1,057,740	1,057,740	12,824	1,070,565

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アウトソーシング受託サービス、介護ロボットの企画・販売等の各事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,057,740
「その他」の区分の利益	12,824
セグメント間取引消去	1,687,982
のれんの償却額	142
全社費用(注)	△1,470,095
中間連結損益計算書の営業利益	1,288,595

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「介護サービス事業」セグメントにおいて、株式取得により愛らいふサービス株式会社を子会社化しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当中間連結会計期間においては251,747千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社は、2025年11月7日開催の取締役会において、いわゆるマネジメント・バイアウト(MBO) (注)の一環として行われる株式会社Color (以下「公開買付者」といいます。)による当社が発行する普通株式(以下「当社株式」といいます。)及び新株予約権に対する公開買付け(以下「本公開買付け」といいます。)に賛同する意見を表明するとともに、当社の株主の皆様に対して、本公開買付けに応募することを推奨する旨及び新株予約権の所有者(以下「本新株予約権者」といいます。)の皆様に対しては、本公開買付けに応募するか否かについて、本新株予約権者の皆様のご判断に委ねる旨を決議いたしました。

なお、当社の上記取締役会決議は、公開買付者が本公開買付け及びその後の一連の手続きを経て、当社株式が上場廃止となる予定であることを前提として行われたものです。

詳細については、2025年11月7日公表の「MBOの実施及び応募の推奨に関するお知らせ」をご参照ください。

(注) 「マネジメント・バイアウト(MBO)」とは、一般に、買収対象会社の経営陣が、買収資金の全部又は一部を出資して、買収対象会社の事業の継続を前提として買収対象会社の株式を取得する取引をいいます。